

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	3123
部名	都市計画部	課名	都市計画課	課長名	尾崎仁
事務事業名	区域区分界等調査測量業務				
予算上の事務事業名	区域区分界等調査測量委託				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		26140		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第6章 総合的、計画的な土地利用を進めます				
基本施策名	第1節 環境と調和し、地域の特色を生かした秩序ある土地利用の				事業開始年度
施策名	第4施策 土地利用の計画的誘導				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
都市計画法第53条第1項 生産緑地法第6条					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 指導・規制・許認可 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
都市計画法上の手続きに必要なとされる都市計画施設の境界、2種類以上にまたがる用途地域及び防火・準防火地域の調査並びに都市計画法第53条第1項の規定による許可申請の処理を行う際の資料調査及び現地測量を行う。 また、相模原都市計画生産緑地地区の変更の際に使用する図書等の作成、及び追加指定の生産緑地地区に生産緑地法第6条の規定により標識を設置する。				申請者(市民)	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
用途地域調査願(都市計画施設の境界、2種類以上にまたがる用途地域及び防火・準防火地域の調査)175件、都市計画法第53条第1項に規定する許可申請17件、合計192件に対し業務を実施した。また、相模原都市計画生産緑地地区の追加6件、拡大2件、縮小11件、廃止9件、合計28件の変更箇所について、業務を実施した。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
都市計画法上及び建築確認等において必要な業務であり、他市においても同様に実施している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	2,298	1,988	3,155	3,563	3,563
一般財源	2,298	1,988	3,155	3,563	3,563
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	16,780	16,020	16,140	16,140	16,140
事業コスト合計(a)	19,078	18,008	19,295	19,703	19,703
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	区域区分界等調査測量業務			対象名称(単位)	申請件数(件)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	19,078	18,008	19,295	19,703	19,703
対象数	254	230	220	230	230
単位あたり経費(円)	75,110	78,296	87,705	85,665	85,665
前年度比		1.04	1.12	0.98	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	申請件数（件）	指標式と指標の説明		当該業務に係る申請件数の合計	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	254.0	230.0	220.0		
目標					
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	処理率（％）	指標式と指標の説明		処理率（％）＝処理件数／申請件数×100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		建築の際に必要なものや、法律に基づく業務のため、今後も引き続き業務を推進していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 相模原都市計画生産緑地地区の変更に係る委託業務を早期に発注することにより、当該業務の効率化を図る。			14 課題として認識されたこと 特になし。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			